

2023

東海大學日本語文化學系30週年國際研討會

## 異「言語」接觸とミライ

## 異「語言」接觸與『未來』

Cross-linguistic contact and its future

時間

3月18日(土)

会場

人文大樓  
茂榜廳

## 基調講演

## 研究発表

09:00 - 11:50

## 佐藤慎司

Japanese Language Program, East Asian Studies,  
Princeton University Director/ Senior Lecturer社会・コミュニティ参加をめざす「批判的」  
言語文化社会教育

## 塩入すみ

熊本学園大学外国語学部英米学科 教授

ロケーションとしての留学  
—留学というミライ—

## 毛利雅子

名古屋市立大学大学院人間文化研究科  
グローバル文化コース 准教授言葉と文化の接触：自文化における異文  
化、異「言語」による活動を通訳・翻訳から  
検討する

主催：東海大學日本語文化學系

助成：教育部

國家科學及技術委員會

財團法人日本台灣交流協會

台灣日本研究學會

東海大學研究發展處

お問い合わせ/お申込み

研討會  
網頁報名  
連結

東海大學日本語文化學系

https://sinpo.thu.edu.tw/

メール:japan@thu.edu.tw

電話:04-23590121#31701~31703

13:00 - 14:30

A 会場	語りの中のことば	座長：羅曉勤 (台中科技大學)
富永悠介	南台科技大學	矛盾の中に折り重なる出会いと交流 —あるタイ人技能実習生の語りから
伊藤佳代	中山大學	老後を生きる指標としての親子間における言語経験 —台日国際結婚日本人女性のライフコースの視点から
工藤節子	東海大學	日本語学科の卒業生の言語接触とキャリア観

B 会場	教育と変容	座長：郭毓芳 (中華民國空軍官校)
蔡 薰婕	帝京大学	言語教育の現場からみた外国語学習の課題
王 怡人	東海大學	授業改革に踏み込むまでに何が起きていたか —自己内リフレクションを通して
野々口ちとせ	甲南大学	日台国際共修によるオンライン日本語教育実習における 教師イメージの変容—日本人実習生の場合—
佐藤良子 平田亜紀 宮崎 新 福本明子	東海大學 常盤大学 名城大学 愛知淑徳大学	コミュニケーション学の視点から見たCOIL (オンライン国際協働学習)の一考察： 台日コミュニケーションプロジェクトを事例にして

14:50 - 16:20

A 会場	言葉と言葉の間	座長：黃愛玲 (高雄科技大學)
平澤佳代	朝陽科技大學	水泳活動における日中通訳の基礎研究
内田智秀	名城大学	自動翻訳時代における外国語学習に関する一考察 —第二外国語としてのフランス語教育を事例にして—
黃 淑燕	東海大學	日本語、中国語というフィルターを通して

B 会場	日本語教育のあり方	座長：許均瑞 (銘傳大學)
張 瑜珊	東海大學	CLILの観点から東海日文のカリキュラムを考察
松永稔也	宮崎大学	JFL/JSLとして日本語を教える・学ぶことの行方(ミライ) 日本語教學は日本の社会構造にどんな貢献をしているのか
Ostheider Teja	関西学院大学	共通語としての日本語のあり方を模索する

## 総合討論

16:30 - 17:30

座長：林珠雪 工藤節子 (東海大學)

日本語教育のミライ

佐藤慎司 (Princeton University) Ostheider Teja (関西学院大学)  
内田智秀 (名城大学) 羅曉勤 (台中科技大學) 王怡人 (東海大學)